

2008/01/11 中国の学園天国

あけましておめでとうございます。ここ二ヶ月ほど多忙のため、すっかり当レポートをさぼっておりました。

と言うわけで、久しぶりのレポートは中国の学内の様子についてです。



なぞの石卓郡

大学の学内には、そこら中に卓球台があります。しかも屋外に。ごらんのように、グラウンドというか駐車場というか、とにかくだだっ広いコートに、卓球台がズラリと並んでおります。で、この卓球台はコンクリート製なのですが、無骨なその姿は色とネットがなかったら何かの遺跡みたいです。四百年後ぐらいに「なぞの石卓」として発掘されてほしいですね。

放課後にはこの石卓に、学生から教授までさまざまな人が集い、野試合をしています。ちなみに大連留学時代の留学生仲間の中に、元卓球部の人でしたが、彼はいつも中国人学生に野試合をいどみ、皆から「サムライピンパー」と呼ばれていました。

ちなみにその彼曰く、中国人学生は反応は早い打球の種類が少ないのだそうで。たぶん、みんな小さい頃から卓球で遊んでいるものの、中国ではクラブ活動が盛んではなく、ほとんどの人が自己流で技を磨いているためだと思います。なので専門的なカーブとかなんとかは出来ないのかもしれないですね。



宿舎前にも発見。どんだけ卓球好きなのかと。



学内の売店で、ラケット（ボール付き）が売ってました。大学はさすが「最後の単位社会」と呼ばれるだけあって、日常品はなんでも売ってます。

そういえば中国ではあまり片面ラケット（あの四角いやつ）は見かけません。

両面の方が裏も使えてオトクだからでしょうか。

ちなみに、屋外の石卓のネットはほとんどがボロボロなので、凝り性の人は自分でネットだけ買ってきて装着してました。

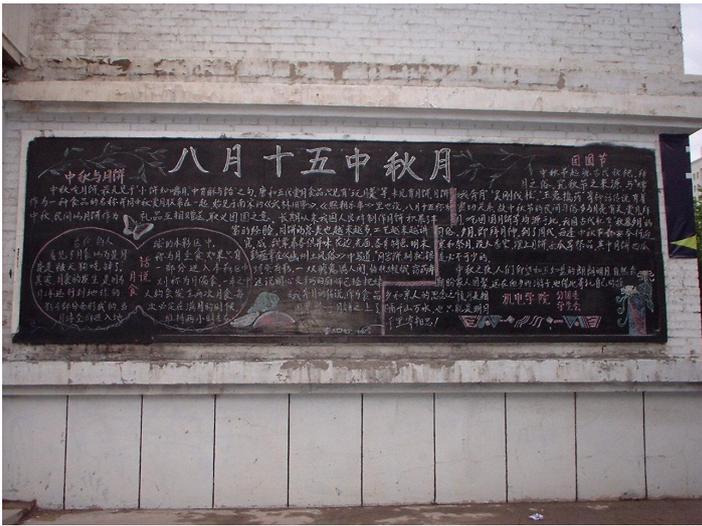


値段は12元～15元ぐらい。一食だいたい五元ぐらいなので、学生にとっては無くすところよってへこむ値段かと。



荒野に並ぶバスケットゴール

学生の間ではバスケも人気です。公式試合（クラス対抗とか。一学期に一回ぐらいやっています）以外は、ワンゴールだけ使用した、いわゆる3オン3というルールでやっています。しかし次々と友人が「乱入」してくるので、時々10オン9ぐらいになっていて収拾がつかなくなることもしばしば。



単位社会名物、黒板掲示。もちろん手書き。大抵は節日まつわる故事や、「マナー向上」とかの逸話が書いて有ります。ていうか、誰が書いているんでしょうね。学生会でしょうか。



意外に凝ったレイアウトです。こういうのを書くのが得意な子が、クラスに一人はいるんでしょう。



学内にある張り出し新聞。毎日最新の新聞がタダで読めます。学生の宿舎にはテレビはなく、またネットカフェでは主にゲームとダウンロードにいそしんでいるので、時事ニュースはこの新聞から得ているような。



ちゃんと毎日、最新の新聞が張られています。こういうところはしっかりやります。



中国将棋。コマがでかい。

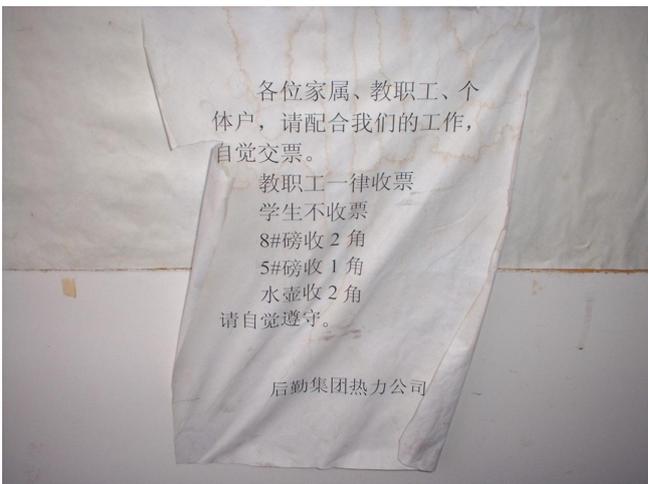
中国将棋もメジャーなレジャー。うわさでは宿舎前の小売部（売店）のおじいさんが最強だとか。よく学生と一緒にうっています。ちなみにおじいさんが勝負中は、小売部は娘さん（たぶん 40 歳ぐらい）が店番を代わります。



ここは「水房」といい、この蛇口から熱湯が汲めます。中国のほとんどの学生は寮生活であり、寮にはキッチンがなく自炊は不可能です。そこで、部屋でお茶やインスタントラーメンを作るときにはこのお湯が欠かせません。中国では日本以上にインスタントラーメン（特に袋入りのヤツ）が売り出されていますが、それはこういった宿舎生活をする人にとって、食堂が閉まっている間の食事として重宝されているからだと思います。



どうやらお湯を汲むたびに、ここに食券ならぬ「お湯券」を入れるシステムの様です。



学生はタダ、教職員や学内に出店している店主や職員はお湯券を入れるようです。



お湯箱の中身。直接お金をいれている人もいるようで。



この時間だけボイラーが動きます。ちなみに学校の公衆浴場（たいていシャワーのみですが）もお湯が出る時間が決まっており、それを逃すとお風呂に入れません。

また中国では就寝前にお風呂、といった習慣は特になく、時間のあるときに入る人が多いです。大連ではよく頭から湯気を出しながら授業に出ている学生もいましたが、蘭州ではまだ見てないですね。



傍らにおいてあった魔法瓶。懐かしいデザイン。

ではでは、今日はこの辺で。

「今日のおまけ」



某スーパーの柱にあったイラスト。間違い（手抜き？）探し。